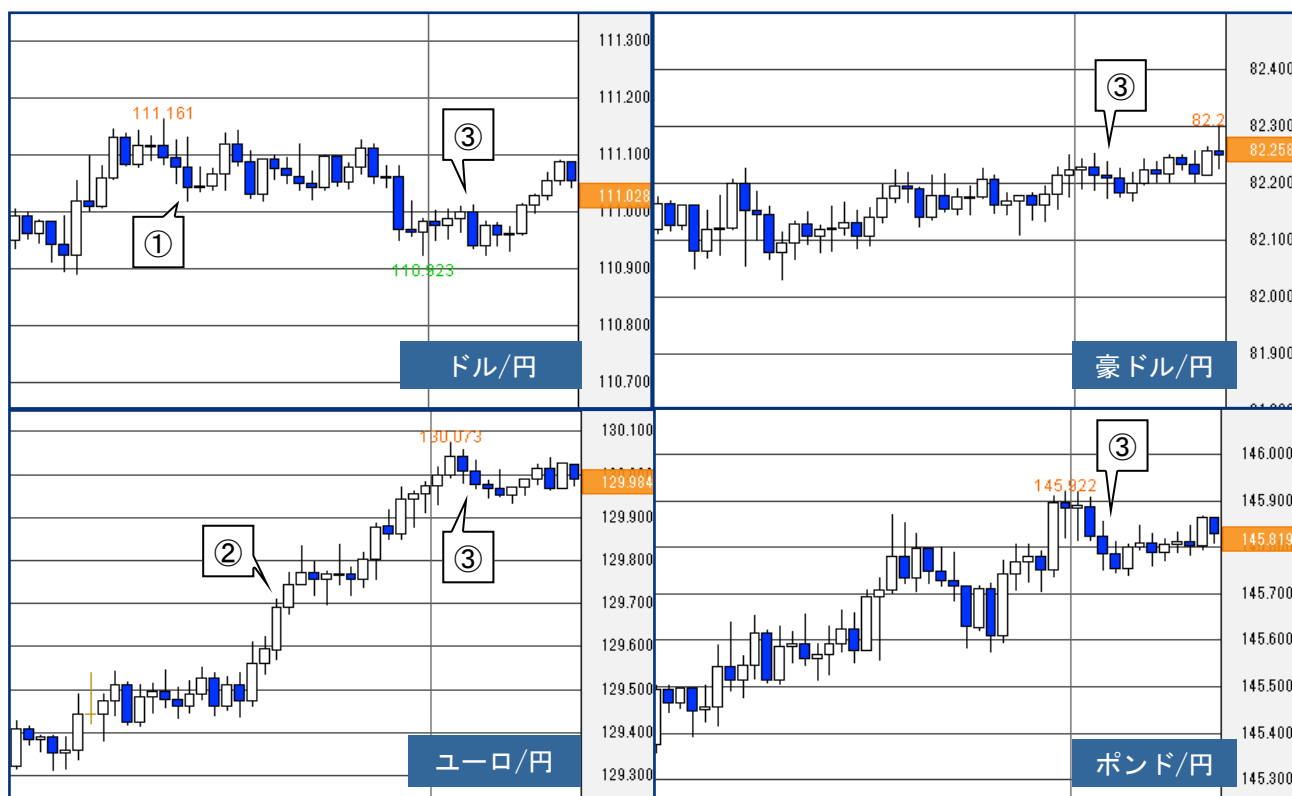


7月31日(火曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

日銀に関心が集中

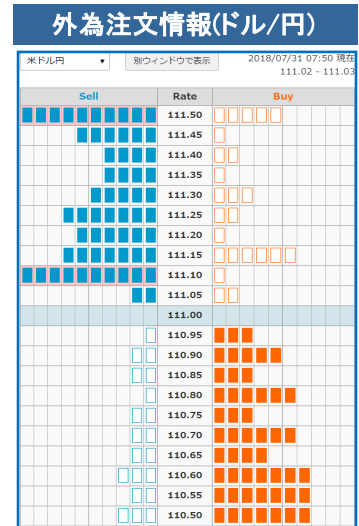
30日(月)の為替相場



期間 : 30日(月)午前7時00分～31日(火)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所: 外為どっとコム

- ① 日銀が長期金利誘導目標レンジの拡大など「緩和政策の柔軟化」に動くとの思惑から本邦長期金利が上昇する中、日銀は金利固定・金額無制限で国債買い入れを行う「指値オペ」を実施して長期金利の上昇をけん制。ただ、日銀の金融政策発表を翌日に控え、円相場の反応は限定的であった。
- ② イタリアの国債入札に強い需要が集まった事を受けて、高格付けのドイツ国債が売られ、同国長期金利が上昇すると、ユーロ買いが強まった。なお、その後発表された独7月消費者物価指数・速報値は、前月比+0.3%、前年比+2.0%と、市場予想(+0.4%、+2.1%)を下回った。
- ③ 原油価格の上昇とともに産油国通貨が買われ、ドルが売られる中、クロス円が強含んだ一方、ドル/円は上値が重かった。ただ、ナスダック指数が続落するなど、ハイテク株主導で米国株が値下がりする中、クロス円も伸び悩んだ。

30日(月)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22544.84 ▼167.91	6278.392 ▼21.835	2869.050 ▼4.544	7700.85 ▼0.46	12798.2 ▼62.20
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25306.83 ▼144.23	0.1020% ▼0.0020	2.649% △0.005	1.343% △0.063	0.446% △0.042
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.6613% ▼0.0081	2.9728% △0.0186	70.13 △1.44	1231.50 ▼1.20	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.200-111.700	129.100-130.700	81.600-82.800	145.000-146.600

【ドル/円】

昨日のドル/円は、111.00円を挟んで小幅な値動きに終始。日銀が大規模緩和政策の修正に動くとの見方が広がる中、本日の金融政策決定会合の結果を見極めたいとするムードが支配的だった。一部報道によると、日銀は現状0%前後(事実上0~0.1%)としている長期金利(10年債利回り)誘導目標のレンジを拡大させる事などを検討している模様。報道ではこれを「柔軟化」と呼んでいるが、安易に誘導目標レンジを拡大すれば「利上げ」となってしまう。インフレ率が目標の半分にも届かない中で「利上げ」に動けば、円高・株安を招きかねない事から、日銀としても慎重にならざるを得ないところだろう。今回、日銀が緩和修正に動くにしても動かないにしても、黒田総裁が会見で今後の金融政策についてどう説明するかが最も重要となりそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/31(火)	未定	◎	(日)日銀金融政策決定会合	-	-
	15:30	◎	黒田日銀総裁、定例記者会見	-	-
	16:55	○	(独)7月失業者数(前月比)	-1.5万人	-1.0万人
	16:55	○	(独)7月失業率	5.2%	5.2%
	18:00	○	(ユーロ圏)7月消費者物価指数(HICP)・速報(前年比)	+2.0%	+2.0%
	18:00	◎	(ユーロ圏)4-6月期GDP・速報(前年比)	+2.5%	+2.2%
	18:00	○	(ユーロ圏)6月失業率	+8.4%	+8.3%
	21:30		(米)4-6月期雇用コスト指数(前期比)	+0.8%	+0.7%
	21:30	○	(米)6月個人消費支出(前月比)	+0.2%	+0.4%
	21:30	◎	(米)6月コアPCEデフレーター(前年比)	+2.0%	+2.0%
	22:00		(米)5月S&P/ケースシラー住宅価格指数(前年比)	+6.56%	+6.40%
	22:45		(米)7月シカゴ購買部協会景気指数	64.1	62.0
	23:00	◎	(米)7月消費者信頼感指数	126.4	126.0
	29:30	○	(米)アップル4-6月期決算	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。